



セミナー会場

4508

田辺三菱製薬



～Open Up the Future-医療の未来を切り拓く～

田辺三菱製薬とは

- **田辺三菱製薬の誕生**
 - ・2007年、田辺製薬と三菱ウェルファーマが合併し、田辺三菱製薬が発足
 - ・三菱ケミカルホールディングスが当社株式の56.3%を持つ筆頭株主
 - ・田辺製薬は1678年に創業し、340年の歴史
- **田辺三菱製薬の概要**
 - ・売上収益の約99%が医療用医薬品
 - ・重点領域は、自己免疫疾患、ワクチン、糖尿病・腎疾患、中枢神経系疾患の4つ
 - ・2017年度売上収益に占める海外比率は26%、ロイヤリティ収入は791億円
- **たなみん**
 - ・当社シンボルマークは「手のひら」をモチーフ
 - ・2016年6月に、この「手のひら」を持つオリジナルキャラクター、「たなみん」が誕生

中期経営計画の達成に向けて

- **海外収益40%へ**
 - ・2020年度の売上収益目標5,000億円の内、海外売上比率は40%をめざす
 - ・米国売上収益800億円を目標としており、国内に次ぐ第二の事業の柱へ
 - ⇒米国事業拡大のステップとして、2017年にALS治療薬「ラジカヴァ」を発売
 - また、パーキンソン病薬の開発を行うニューロゲーム社を買収
 - ・加えて米国で、2019年度に植物由来インフルエンザVLPワクチンの承認取得をめざす
- **パイプライン価値最大化**
 - ・2020年度までに研究開発費4,000億円を投資、後期開発品10品目の創製をめざす
 - ⇒2017年度までに後期開発試験に5品目が進捗

市場の現状、中期経営計画

- **医薬品市場の現状**
 - ・2017年度 医薬品売上高世界トップ50社中、日本の製薬会社9社がランクイン、当社は40位
 - ・日本は世界第3位の新薬創出国
 - ・医薬品の研究開発期間は9～16年に及び、医薬品となる成功確率はわずか25,000分の1
- **Open Up the Future-医療の未来を切り拓く**
 - ・当社成長戦略のキーコンセプト
- **中期経営計画16～20「4つの挑戦」**
 - ・以下「4つの挑戦」によって、2020年度に売上収益5,000億円、コア営業利益1,000億円が目標。
 - ①パイプライン価値最大化
 - ②育薬・営業強化
 - ③米国事業展開
 - ④業務生産性改革

中期経営計画・株主還元

- **育薬・営業強化**
 - ・国内売上収益 3,000億円維持
 - ⇒2017年度実績 3,093億円
 - ・新薬および重点品売上比率 75%
 - ⇒2017年度実績 63%
- **業務生産性改革**
 - ・売上原価・販管費を対2015年度比較で200億円低減
 - ⇒2017年度実績 140億円
- **配当方針**
 - ・「中期経営計画16～20」期間は、配当性向50%を目途に中長期的な利益成長に基づいた配当を行う予定

本資料は、フォーラム開催日の2018年8月18日現在の情報に基づいて作成されており、その後の業績動向等を反映したものではないため、明示、黙示に関わらず内容の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。